

**経営発達支援事業(米沢市)**  
**令和2年度 事業評価委員会 報告書**

1. 日 時 令和2年10月20日(火) 10時00分～11時30分
2. 場 所 米沢商工会議所 第3会議室
3. 出席者名 資料 出欠名簿のとおり 計 15名
4. 議事の経過  
加藤英樹委員(米沢商工会議所副会頭・税理士)の挨拶の後、加藤委員が議長となり以下の議題について審議に入る。

**<議 題>**

**(1) 本委員会の設置について【審議】**

事務局より、令和2年3月認定の第2期経営発達支援計画に基づき、資料P1～2の通り、設置規程を変更することを上程し、全会一致で承認された。規程に基づき役員を選任。互選にて委員長に加藤英樹氏(米沢商工会議所副会頭・税理士)、副委員長に高橋哲男氏(社会保険労務士)を選任した。

**(2) 経営発達支援計画について【説明】**

事務局より、令和2年3月認定の第2期経営発達支援計画について、資料P3～8、経営発達支援計画書に基づき、説明を行った。

**(3) 平成31年度・令和元年度の「経営発達支援事業」の状況報告について【説明】**

事務局より、資料P9～17、別添資料に基づき、平成31年度・令和元年度の取り組み状況について説明を行った。

**(4) 各委員からの意見および提言等【評価】**

加藤委員長より、事務局が説明した内容について各評価委員に意見を促した。

意見は以下の通り。

- ・やまがたチャレンジ創業助成金で不採択の事業所があるようだ。創業後の実行支援(フォローアップ)をしっかりと行って事業継続をきちっと促してほしい。
- ・フォローアップの事業所が目標に達していない。令和2年度からはさらにフォローアップが重要となっているので、心してかかってほしい。
- ・報告の数字が分かりづらい。わかりやすく整理を行うべき。

- ・素晴らしい事業で成果も確実に上がっていると思う。成果をさらに拡大させるため、金融機関と連携し、支援先事業者の掘り起こしをもっと進めるべき。
- ・事業所の問題は細分化、複雑化している。今の経営指導員はスキルを確保できるのか？新計画に沿った育成と連携で解決してもらいたい。
- ・どの事業所もこのコロナ不況で困っている。来年から特に資金繰りなどが苦しくなると予想される。今までの経験が通用しない。そういった中で商工会議所がどういった支援ができるのか、もっと伝えてほしい。
- ・山形県のコーディネーターとの連携で上手くいった事業も複数あるようだ。地域全体の取り組みとして、行政ともっと歩調を合わせて制度設計から関わってもいいのではないかと思う。

以上の意見・評価をいただいた。

#### (5) その他

次回、評価委員会は経営発達支援計画に基づき、令和3年度に令和2年度の事業結果がまとまった時点で開催することを確認した。

以上をもって会議を終了した。

#### 【評価委員からの指摘事項について、事業実施の見直し内容】

- ①支援事業者の掘り起こしとして、当所青年部と事業説明の懇談会を行う。また、地元金融機関等が行うセミナー等に参加し、事業説明を行う。
- ②事業計画作成後のフォローアップが重要であることを支援事業者に改めて伝えるとともに、フォローアップが各事業者の負担にならないよう、事業者からの聞き取り等をしっかり行いながら、寄り添い・励ます支援に努める。
- ③よろず支援拠点や県のコーディネーターと連携した指導をさらに進め、金融機関・信用保証協会との連携も同様に、地域全体で効率的により充実した支援をするため、最善を尽くす。